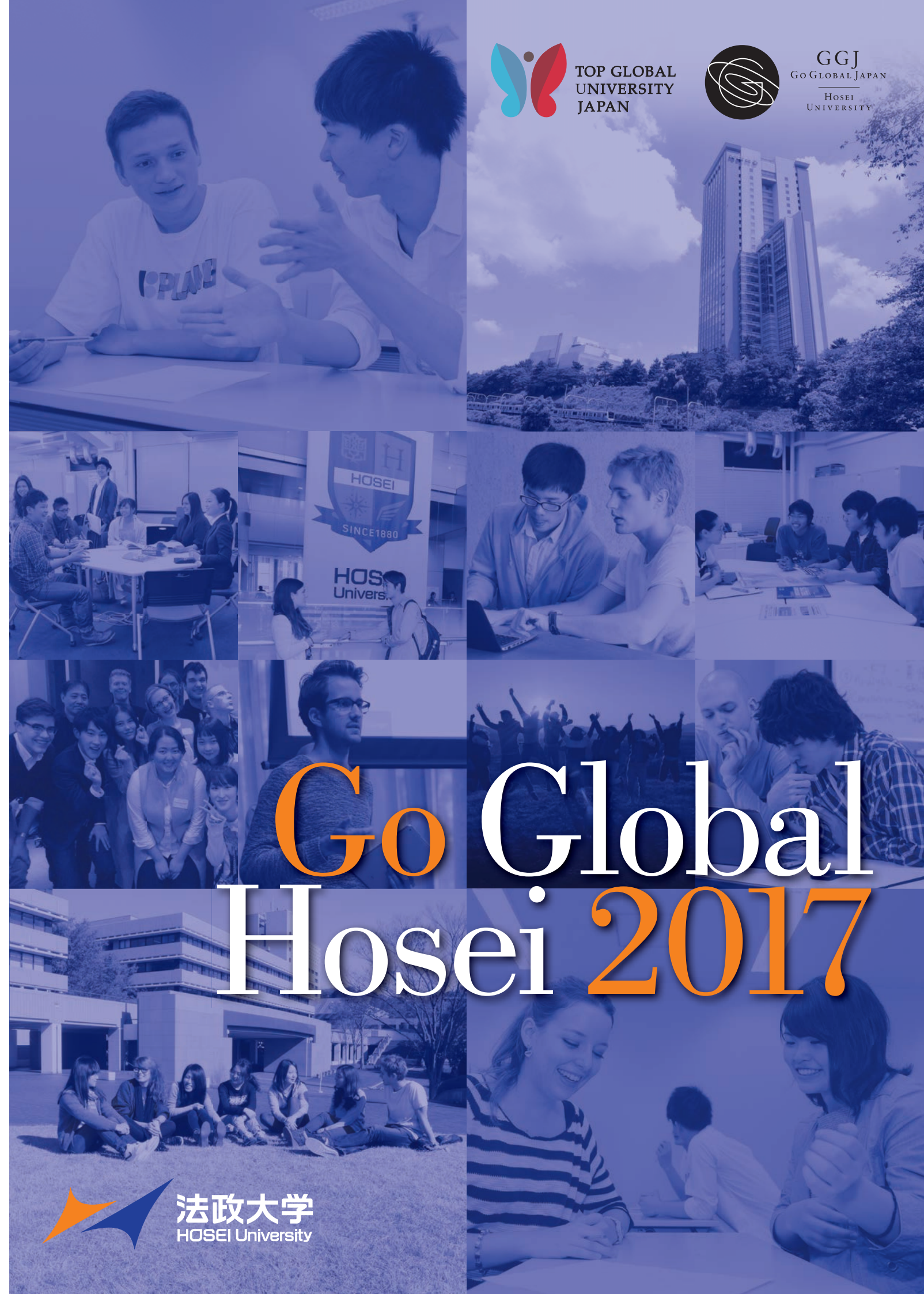




法政大学 グローバル教育センター事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL: 03-3264-4088 E-mail: globaledu@hosei.ac.jp
<http://www.global.hosei.ac.jp/>

2017年3月発行



Go Global Hosei 2017



課題解決先進国日本から サステナブル社会を構想する グローバル大学を目指して！

法政大学は、2012年度に文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択され、グローバルな状況を適確に把握し、世界のどこでも能力を発揮できる人材の育成に取り組んできました。2017年3月末をもって、同補助事業は総じて所期の目標を達成できたと考えています。2014年9月には、「スーパーグローバル大学創成支援」にも採択されました。本学の構想は「課題解決先進国日本からサステナブル社会を構想するグローバル大学の創成」です。2017年には取り組み4年目に入り、2023年に最終年度を迎えます。構想どおりに実行するには、解決すべき課題はあるものの、順調に事業が進捗しています。この2つの文部科学省による補助事業を通じ、本学のグローバル化は飛躍的に推進されました。グローバリゼーションの波の中を、本学の在学生・卒業生がのびのびと生きていかれるよう、そして本学の教職員がその職能と研究力を伸ばしていられるよう、法政大学ならではの取り組みを一步一步、着実に進めていきます。



経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援

経済社会の発展に資することを目的に、グローバルな舞台に積極的に挑戦し世界に飛躍できる人材の育成を図るため、学生のグローバル対応力を強化し推進する組織的な教育体制整備の支援を行う文部科学省の事業。全国の国公立大学から、本学を含め42校が採択されています。なお、本事業は「グローバル人材育成推進事業」が組み替えられたものです。



スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公立大学から、本学を含め37校が採択されています。

Hosei University Charter

Practical Wisdom for Freedom

Hosei University was founded by a group of ambitious young men at the beginning of the modern era in Japan for ordinary citizens who had become aware of human rights and sought a knowledge of the law.

As the school song says, Hosei University is a place where “good teachers and good friends gather.” The university has always fostered a “free academic atmosphere” in which the rights of others are respected and diversity is accepted and a “pioneering spirit” which is not bound by convention and aims at building a fair society.

Carrying on the legacy of the university's founders, our mission is to pass on this free academic atmosphere and pioneering spirit to the next generation and contribute to solving the problems of the world.

In order to fulfill this mission, the university strives to support farsighted research from a variety of points of view and educate students to become independent citizens who carry out their work for the society and the people based on well-grounded principles and unrestricted thinking.

Hosei University promotes sound critical thinking based on sympathy for all people, both locally and internationally, and the creation of ideas for solving social problems based on practical wisdom. In cooperation with its many graduates, who have the ability to live anywhere in the world, Hosei University will contribute to the future of sustainable societies.

「法政大学憲章」(英語版)

自由を生き抜く実践知

法政大学は、2030年に創立150

周年を迎えます。2013年、私が

総長に立候補するにあたって、創立

150年という大きな節目をめざす

“HOSEI 2030”を構想し、賛同

を得ました。2014年の就任後すぐ

にタスクフォースを設置し、検討

を重ね、2030年の本学の姿を展

望したプロジェクト“HOSEI 2030”

を策定いたしました。またその過程で、「ダイバーシティ宣言」を行い、

「法政大学憲章」を制定しました。「法政大学憲章」は「自由を生き

抜く実践知」をその約束として掲げています。それぞれが生きる現実

の中で、自由を生き抜くことを理想とし、それを実現するために課題解

決を続ける知性のことです。“HOSEI 2030”の根幹をなすとともに、

本学のスーパーグローバル大学構想にも繋がる重要な理念です。

今後、これらの憲章、ミッション、ビジョン、そして宣言に基づき、スーパー

グローバル大学構想を含む“HOSEI 2030”を実行していきます。

法政大学の新しい展開に注目し続けてください。

法政大学 総長
田中 優子



INDEX

巻頭.....	01~02
法政大学のグローバル化へのビジョン	03~04
グローバル人材育成のイメージ	05~06
語学教育プログラム	07~08
外国人留学生の受け入れと国際交流プログラム	09~12
多様な海外留学プログラム	13~16
海外交流協定大学.....	17~18
グローバル化に対応した仕組みづくり	19~20
グローバル化の歩み	21~22

法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成を目指して、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

- 総長のリーダーシップ
- 長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定
- ICT基盤とIR機能の強化充実



日本の知見を世界へ
人間力豊かなグローバルリーダーを育成

課題解決先進国日本から
サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざします。

法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロンティアを育成する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル社会への発信力の強化

3 サステイナブルなグローバル社会の基礎作りに向けた中等教育支援

4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし

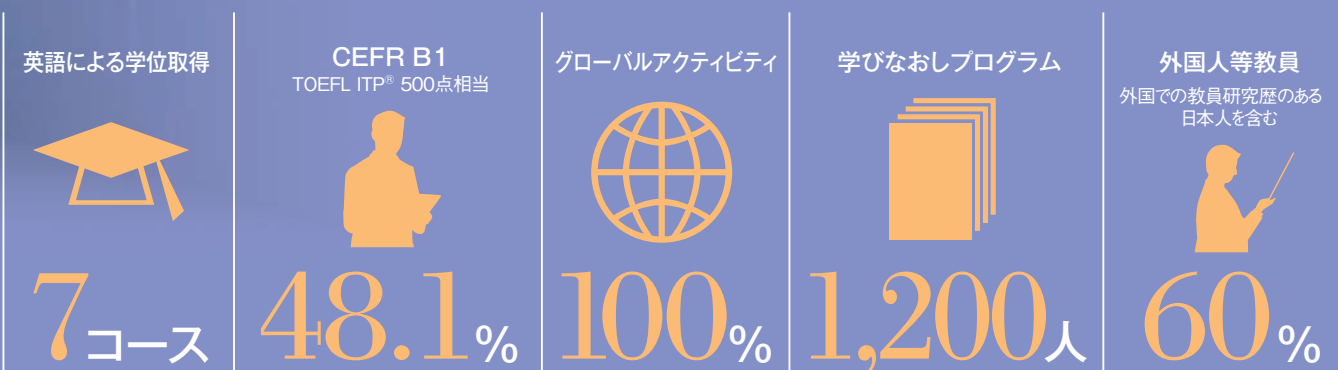
5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定ができる体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神で
なにごとにも絶えず挑戦し、
新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かな
リーダー育成、最先端を行く
高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、
持続可能な地球社会の
構築に貢献する



グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、既成概念に捉われない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成を目指します。実践的な語学教育、学内外での国際交流、海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

英語力を伸ばす

ERP（英語強化プログラム）などを受講

市ヶ谷、多摩、小金井の全てのキャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP（英語強化プログラム）」と「EVERYDAY! 英会話講座」を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。



英語で学ぶ

グローバル・オープン科目などを履修

全ての授業を英語で行っているGIS（グローバル教養学部）の公開科目、多彩な科目が開講されているグローバル・オープン科目、ESOP（交換留学生受入れプログラム）の科目に参加することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。



事例イメージ

経営学部 経営戦略学科：Aさん
基礎的な英語力はあるので、経営戦略を専門に学ぶとともに、高度な英語力を身に付け、国際機関で働きたい。



英語による授業で 語学力と異文化理解力を 養成

- グローバル・オープン科目
- ESOP（交換留学生受入れプログラム）科目
- 学部教育課程における海外留学

ERP （英語強化プログラム） で語学力を強化

- ERP（英語強化プログラム）
- Gラウンジ
- 国際ボランティア
- 短期語学研修

1年次

2年次

3年次

4年次

学際知識を修得 海外留学で さらにスキルアップ

- GIS（グローバル教養学部）の公開科目
- 派遣留学・認定海外留学
- 国際キャリア支援セミナー

専門知識を修得 グローバル社会で 生きる力を修得

- 専門科目（ディスカッション・プレゼンテーション中心）
- 国際インターンシップ

国際機関への就職・活躍

海外大学院

国際的な経験を積む

国際ボランティア・インターンシップに参加

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



Gラウンジを活用

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ（Global Lounge）」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学制度を活用する

派遣留学などに参加

留学などの海外プログラムには、1年間の派遣留学・認定海外留学、学部ごとの留学（SAプログラム）・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際的な舞台で活躍する

国際キャリア支援セミナーに参加

国際的な舞台で活躍する方を招き、将来、国際的な企業や機関で働きたいと考えている学生を対象に、さまざまなセミナーを実施しています。国際的な舞台で必要とされるスキルや経験を学ぶことが、将来のキャリアへの大きなステップとなります。



※あくまでも一例であり、所属学部や学習到達度により履修内容は変わります。

語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことができます。



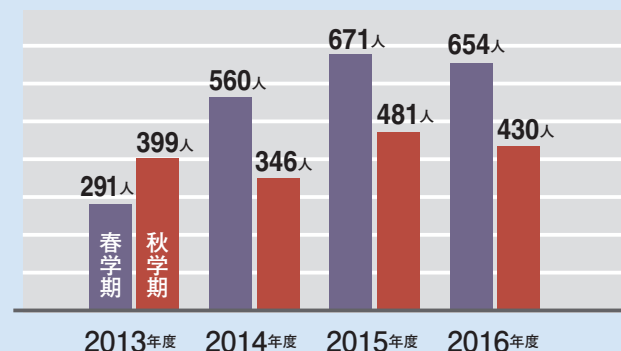
ERP (英語強化プログラム)

English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成と、その統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。

- 
1 listening speaking reading writing
4技能統合型のカリキュラム
- 
2 外国人講師による指導
実践的な英語力の養成
- 
3 少人数授業
1クラス10名程度の双方向授業

● のべ受講者数



さらに詳しい情報は▶



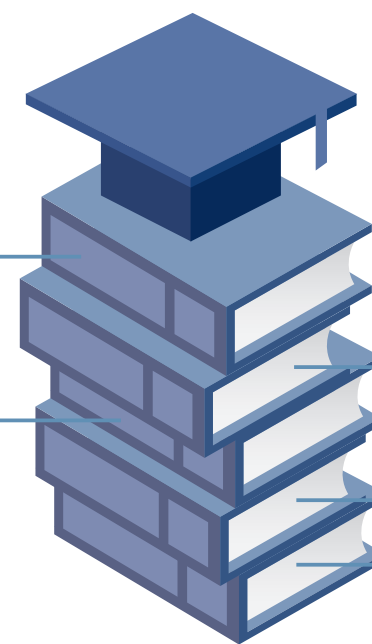
<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

英字新聞制作企画

英文ジャーナリズムの基礎を学びながら、法政大学の英字新聞を学生の視点で作成し、グローバルな視点や批判的思考を身に付けます。参加者の署名入りで発行された新聞は、THE HOSEI HERALD として広く配布されます。

GIS (グローバル教養学部)・国際文化学部 公開科目

ERPなどによりTOEFL iBT® 76以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるGIS (グローバル教養学部) の公開科目を履修できます。また、国際文化学部では、主に留学から帰国した学生の外国語運用能力の維持向上を目的とするアプリケーション科目を設置し、他学部の学生に公開しています。



グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。グローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身につけることができます。



EVERYDAY! 英会話講座

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。レベル別のカリキュラムで、英語に慣れていない人でも安心です。

Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。3キャンパスにあり、開室中はいつでも利用できます。

エクステンション・カレッジ

エクステンション・カレッジは、本学学生を対象にキャリアアップを支援する有料講座です。講座は、市ヶ谷キャンパスを中心に、語学講座ほか一部の講座を、多摩・小金井キャンパスでも展開しています。

TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC® IPの3キャンパス一斉実施を年1回実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。

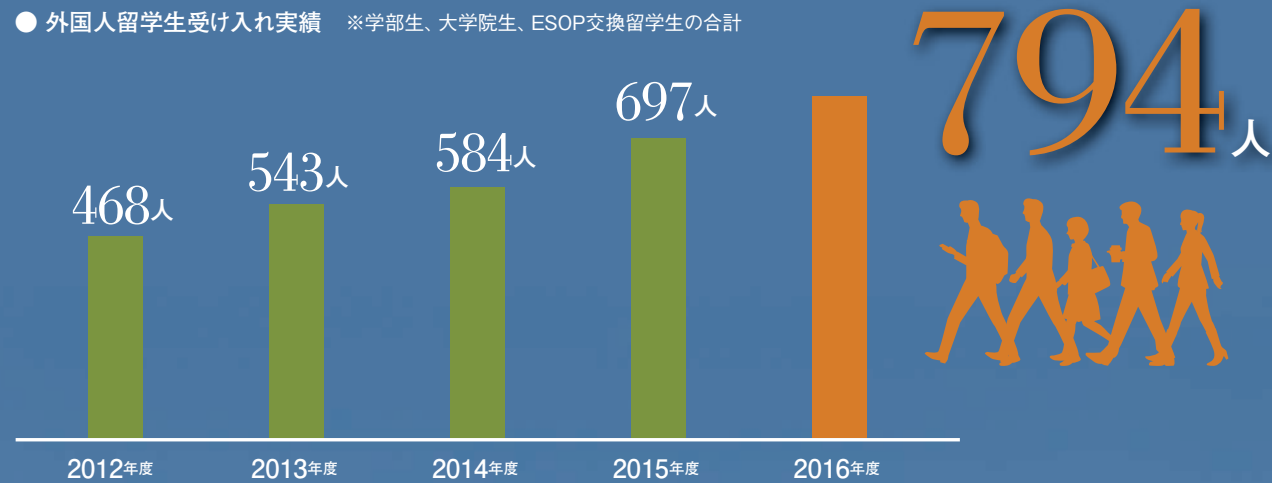
GIS (グローバル教養学部)・国際文化学部 語学検定試験受験料補助

GIS (グローバル教養学部) では英語の検定試験を補助し、語学力の向上を支援しています。国際文化学部では2016年度、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語の検定試験の受験料補助を実施しました。

外国人留学生の受け入れと国際交流プログラム

外国人留学生3,000人の受け入れ実現を目標とし、キャンパスのさらなるグローバル化を目指します。

● 外国人留学生受け入れ実績 ※学部生、大学院生、ESOP交換留学生の合計



32
の国・地域からの留学生

● 出身国・地域 2016年度



ESOP (交換留学生受入れプログラム)

海外の協定校からの交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいながら留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。

2015年度は132名、2016年度は162名の留学生が本プログラムに参加しました。さらに、本学学生も多く受講し、交換留学生の積極的な授業態度に刺激を受けながら交流を深めることができました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することもでき、また、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。



さらに詳しい情報は▶



<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/>



Discover Japan

ESOPの一環として、海外協定大学からの交換留学生たちが日本の社会・文化をより深く理解するため、本学学生と一緒に学ぶプログラムです。2016年度は授業の総まとめとして、富士山麓、多摩キャンパスでの合宿を実施し、日本の社会問題についてフィールドワークによる調査を行った結果をプレゼンテーションしました。日本人学生にとっても、さまざまな国からの交換留学生と英語、日本語の両言語を用いて交流できる有意義な国際交流の機会となっています。



Language Buddy

留学生と日本人学生がペアとなり、授業の空き時間を利用して日本語と外国語をお互いに教え合います。また、語学学習の機会としてだけでなく、留学生の学生生活のサポートや、留学生との交流をすることで、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることも目的としています。



日本語教育の充実や就職支援、日本人学生とのさまざまな交流を通し、外国人留学生の支援体制をさらに強化します。

短期日本語・文化プログラム

海外協定大学の学生を対象に、夏と冬に約2週間の日本語と日本文化を学ぶプログラムを実施しています。日本語だけではなく、日本文化・社会等を学ぶため、浴衣を着ての日本橋散策、国内外で店舗を展開する飲食店グループでの調理体験、富士山麓へのフィールドトリップ等を行います。

このプログラムには、約100名の法政大学の学生がボランティアとして参加し、留学生とバディを組み、授業や課外活動のサポートや、空港への出迎えや生活面のサポートなどを行います。授業やさまざまなイベントを通じて交流を図るだけでなく、お互いの文化を比較する中で自国の文化を見つめなおし、異文化を理解する力を養います。



法政グローバルデイ

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台で活躍する実務者を招いてのさまざまな取り組み紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。



日本語スピーチコンテスト (国際交流サークル Hi-C Orange主催)

さまざまな国と地域からの留学生が出場し、留学生活で感じたことなど自由なテーマでスピーチをします。国際交流サークルHi-C Orangeの日本人学生が留学生をサポートし、協力してスピーチを練り上げています。



法政大学ベトナム事務所開所記念 法政大学日本語スピーチコンテスト

法政大学ベトナム事務所の開所を記念し、ベトナム国家大学ハノイ外国語大学との共催により、日本語スピーチコンテストを開催。ベトナム全国から数多くの応募があり、ベトナムの高校生と大学生が、「将来の社会と私」をテーマにスピーチを行いました。



日本語教育プログラム

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。各国の留学生による歌やダンス、母国の文化についての発表などさまざまな企画を実施しています。



JST（科学技術振興機構）

採択事業さくらサイエンスプラン (日本・アジア青少年交流事業)

ベトナムの高校との高大連携を通じて、日越の懸け橋となる人材の育成に寄与することを目的として開催しています。ベトナムより高校生と教員を招き、本学教員による授業や実験、科学技術関連施設への見学を行いました。

学生寮

本学学生のみが入居できる専用寮、他大学の学生も入居できる優先寮・推薦寮があります。また、特に専用寮では、寮長夫妻や先輩寮生による生活のサポートや、寮生との交流を図る行事が実施されています。

留学生向け就職支援

日本で就職をしたい留学生のために、就職活動に役立つ日本語講座、日本独自の就職活動や採用試験の講座、留学生向けの企業説明会を開催し、積極的な就職支援を行っています。

海外事務所

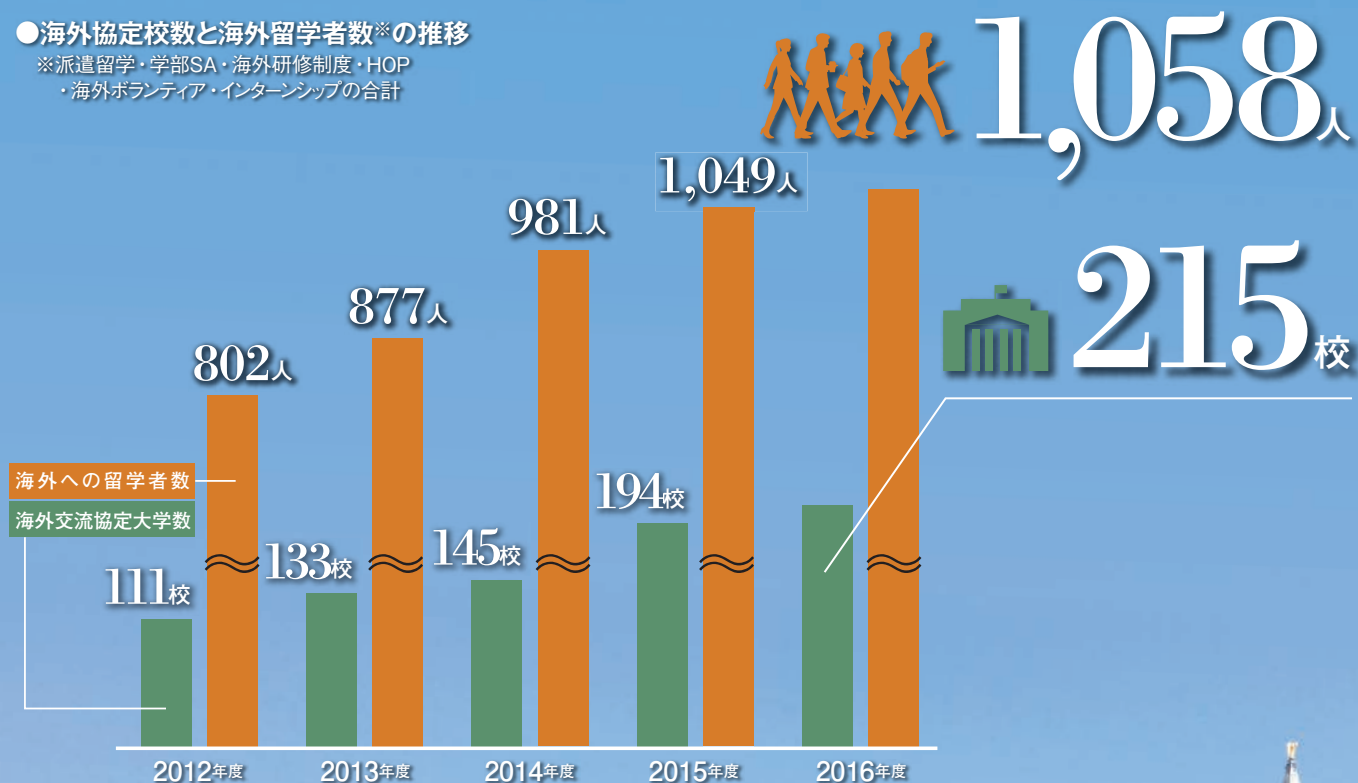
受け入れ留学生の増加、学術交流の促進、卒業生との連携強化等の効果を図ることを目的とし、北京、台北、ハノイ、ホーチミンの4か所に海外事務所を展開しています。

多様な海外留学プログラム

学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。毎年、多くの学生が短期から約1年間の留学を通じて、グローバル人材として求められる豊かな経験を積んでいます。

●海外協定校数と海外留学者数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP
・海外ボランティア・インターンシップの合計



派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留學生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

●派遣留学奨学金

アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、イタリア、ロシア、スペインの協定校に留学する場合

合格者全員 **100** 万円

●2016年度派遣留學生数

応募者数107人

※応募にはTOEFL iBT® 71以上、IELTS 6.0以上などの語学スコアが必要です。

82 人

中国、台湾、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

合格者全員 **70** 万円

【留学費用の概算】

	台湾・国立中山大学派遣留學生Aさんの場合	アメリカ・サンディエゴ州立大学派遣留學生Bさんの場合	スイス・サントガレン大学派遣留學生Cさんの場合
派遣先大学の学費	0円（私費留学の場合約50～300万円）		
渡航費	6万円	20万円	20万円
海外旅行保険	8万円	15万円	8万円
住居費	10万円	60万円	70万円
食費	20万円	20万円	40万円
通信費・郵便費	3万円	5万円	10万円
旅行・その他	20万円	15万円	10万円
合計	67万円	135万円	158万円
自己負担金	留学費用合計67万円 －奨学金70万円 ＝自己負担金 0 円	留学費用合計135万円 －奨学金100万円 ＝自己負担金 35 万円	留学費用合計158万円 －奨学金100万円 ＝自己負担金 58 万円

※留学中は、法政大学の学費を納入する必要があります。

※留学の費用については、派遣先や個人の生活レベル、為替の変動等によって変わります。

（出典）2014年度派遣留學生からの費用報告を基に作成

認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2～4年次の約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」（法政大学授業料半額相当）、「後援会認定海外留学奨学金」（10万円）、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」（25～50万円）等の返還不要の奨学金制度があります。

【過去10年の認定海外留學生の留学先国】

アメリカ 28人
 イギリス 6人
 カナダ 4人
 中国 3人
 フィリピン 1人
 タイ 1人
 デンマーク 1人

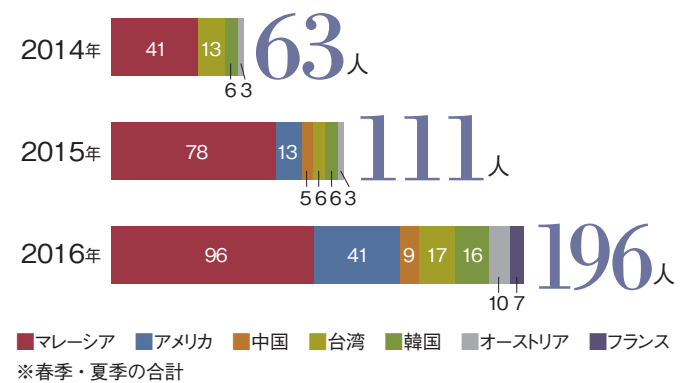


法政大学では派遣留学や認定海外留学のような1年間の留学制度の他にも、さまざまなプログラムがあります。自分自身の目的やレベルにあった留学制度を利用し、グローバルに活躍できる人材としてのステップアップを図ることができます。

短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストラリア（ドイツ語）、フランス（フランス語）の各協定大学で2～4週間程度実施する留学制度です。全学部の一学年対象で、語学レベルや成績に関係なく応募が可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者までを対象としており、初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

●過去の参加者数



国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。国際社会に貢献する活動をさまざまな国・地域からの参加者とともに「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言葉、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。

夏季（8～9月）および春季（2～3月）に実施し、2016年度は主に東南アジアにて、農村開発、難民支援、現地企業での実務研修などを行いました。



Pick Up インドネシアでの国際ボランティア

インドネシアにて、売春街に暮らす子どもたちと交流するボランティアを実施しました。子どもたちのほとんどは、売春婦の母親を持ち、家庭内外で十分な教育を受けていません。ボランティア参加者は、インドネシアの習慣やイスラム教文化を学び、言葉の壁に苦労しながら、遊びを通じて子どもたちの学びをサポートしました。インドネシアの他にもさまざまな派遣先があります。

スタディ・アブロード (SA) ・プログラム

文学部英文学科、経営学部、国際文化学部、人間環境学部（2017年度より）、キャリアデザイン学部、GIS（グローバル教養学部）、経済学部、社会学部、理工学部、生命科学部において、学部独自のスタディ・アブロード（SA）・プログラムがカリキュラムに組み込まれています。

法学部政治学科のオックスフォード大学で短期研修を行うHosei Oxford Programme（HOP）や、現代福祉学部のスウェーデンなどの福祉先進国で行う海外研修制度など、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな研修も行っています。



Voice 短期から長期へのステップアップ！ 留学経験者の声

派遣留学に挑戦したかったものの、海外経験が一切なかった当時の私にとって短期語学研修制度は最適でした。マレーシアにはイスラム教徒が多く、現地の友人とフライドチキンを食べに行った際に、不浄の手とされる左手を使わずに素手で肉をちぎる食べ方を教えてもらい、異文化を感じられました。

研修後は、派遣留学を見越し、語学力を高めることを目的にSAプログラムに参加しました。メルボルンは多文化の都市であり、私が所属していた現地のバレーボールチームには10か国のメンバーがいました。彼らの出身の国の料理をみんなで食べるに行ったことは楽しい思い出です。派遣留学では、将来東南アジアでビジネスを行う夢を実現するため、より多くの人々に出会い、学び、さまざまな経験をしたいです。



経営学部 経営戦略学科 3年生 大谷 直史さん（左から3人目）
2014年8月～（1ヶ月） 夏季短期語学研修制度（マレーシア）参加
2015年9月～（3ヶ月） 経営学部SAプログラム（オーストラリア）参加
2017年8月～（1年間） 派遣留学制度（タイ）合格

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

文部科学省および支援企業から返済不要の奨学金（月額12～16万円）や留学準備金（15～25万円）などのサポートを受けて、インターンシップやボランティアなどの実践活動を含む自分自身の留学計画を実行するプログラムです。法政大学もこのプログラムに応募・参加する学生のサポートを行っています。



世界トップレベル大学等コース（イギリス）



新興国コース（メキシコ）

海外交流協定大学

● 派遣留学

● 短期語学研修

● SA※

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界34カ国・地域において、215大学・機関（2017年2月末現在）との間で

学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流
協定大学

215

※2017年2月末時点

34カ国・地域
大学・機関

 **イギリス** *United Kingdom*

ロンドン大学ロイヤルホロウイカレッジ
シェフィールド大学●●
レディング大学
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学●●
ニューカッスル大学●
サセックス大学●
ブラッドフォード大学●
ヨーク大学

 **ドイツ** *Germany*

フンボルト大学●
オルデンブルク大学
ロイファナ-リューネブルク大学

 **スイス連邦** *Switzerland*

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
サンクトガレン大学●●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門

 **デンマーク** *Denmark*

ロスキレ大学

 **オランダ** *Netherlands*

ステンデン応用科学大学●

 **チェコ** *Czech*

チェコ工科大学●

 **オーストリア** *Austria*

ウィーン大学●●

 **ハンガリー** *Hungary*

コルヴィナス大学
(旧：ブダペスト経済大学)

 **ルーマニア** *Romania*

バベシュ・ボヤイ大学

 **中国** *China*

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学●●
中国国家外国專家局
上海交通大学
北京師範大学●
北京外国語大学
北京日本学研究中心
山東財経大学
大連民族学院
清華大学人文社会科学学院
武漢大学

四川外国語大学
中央民族大学●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
龍門石窟研究院

天津外国語大学
北京語言大学●
對外經濟貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
復旦大学文物與博物館学系

模範のソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学軟件学院
東南大学

 **韓国** *Korea*

延世大学●
延世大学地域發展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学●
聖公会大学社会史研究所
ソウル大学経営学部
嘉泉大学
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学●
仁荷大学産業經濟研究所

釜山大学綠色国土水管理研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学●●
誠信女子大学
韓国外国語大学●
中央大学
建国大学●●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学

 **カナダ** *Canada*

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学●
トロント大学●
ブロック大学●
ヨーク大学●
トレント大学●
プリンスエドワードアイランド大学●
ヴィクトリア大学●

 **アメリカ合衆国** *U.S.A.*

トルーマン州立大学●
ベイラー大学●
カリフォルニア大学ディヴィス校●●
ミシガン州立大学●
ボストン大学●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校●
カリフォルニア大学サンディエゴ校●
ネバダ大学リノ校●●
ボイシー州立大学●
サンホセ州立大学●
フォントボン大学●
サンディエゴ州立大学●●

南カリフォルニア建築大学
イリノイ州立大学
ガステイバス・アドルフラス大学●
ウェストチェスター大学●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校●
ミネソタ州立大学マンケート校●
メタイル大学
ポートランド州立大学●
ウェストフィールド州立大学●
ユタ大学

 **メキシコ** *Mexico*

アナウアク大学
グアハラハラ大学●

 **アルゼンチン** *Argentina*

国立ラプラタ大学

 **台湾** *Taiwan*

国立中山大学●
淡江大学●●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大学
國立雲林科技大学
國立高雄師範大学
實踐大学
國立台灣師範大学●
國立政治大学●
元智大学●
輔仁大学
國立高雄大学

 **ニュージーランド** *New Zealand*

マッセイ大学●
オークランド大学●

 **アイルランド** *Ireland*

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン●
リムリック大学●

 **フランス** *France*

パリ第一大学
リヨン第三大学●
西部カトリック大学●●
パリ・ディドロ（第七）大学●
ヴェルサイユ大学理工学部●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学●
トゥールーズ第2-ミラユ大学
キャンパスフランス●
サンジェルマン・アン・レー政治学院●
ISG

 **スペイン** *Spain*

バルセロナ大学●●
ラモン・リュイ財団
ビック大学●

 **エチオピア** *Ethiopia*

メケレ大学

 **アルジェリア** *Algeria*

アルジェ大学

 **コートジボアール** *Ivory Coast*

フェリックス・ウフェ・ボアニ大学

 **イタリア** *Italy*

カルロ・カッターネオ大学●
ヴェネツィア大学●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学

 **ウズベキスタン** *Uzbekistan*

タシケント国立東洋学大学●
サマルカンド国立大学

 **インド** *India*

デリー大学
インド科学大学院大学

 **マレーシア** *Malaysia*

アジアパシフィックテクノロジー
&イノベーション大学●
マラヤ大学●
マレーシア工科大学
UCSI大学●

 **カンボジア** *Cambodia*

カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立ノンベン大学

 **インドネシア** *Indonesia*

インドネシア大学
サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学

 **フィリピン** *Philippines*

南フィリピン大学●

 **タイ** *Thailand*

タマサート大学●
チュラロンコン大学●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学

 **オーストラリア** *Australia*

シドニー大学●
グリフィス大学
アデレード大学●●
モナシュ大学●
ボンド大学●●



グローバル化に対応した仕組みづくり

大学に求められるグローバル化への対応は、ますます多様化しています。

多様な人材を受け入れ、世界のどこでも活躍できる人材を育成する教育環境として、英語だけで学位を取得できるプログラムを提供しています。

また、国内外の機関と協力できるよう、大学の体制構築と仕組みづくりを推進しています。

英語学位プログラム



SCOPE (人間環境学部)

Sustainability Co-Creation Programme

「持続可能な社会」とはどのようなものか、どのようにそこにたどりつくのか、という、あらかじめ定められた答えのない問いに取り組むために必要な力を涵養することを目的とします。



GBP (経営学部)

Global Business Program

「アジアの世紀」と言われる21世紀のグローバルなビジネス社会で活躍し、牽引できる人材を育成するため、英語で行う授業とともに日本企業のグローバルビジネスを実体験できる科目群を設置しています。



GIS (グローバル教養学部)

Faculty of Global and Interdisciplinary Studies

少人数教育環境のもと、新しい時代のリベラル・アーツ教育を提供する学部です。地球規模で刻々と変化する社会事象に対応できる、自立的で人間力豊かな人材の育成を目指します。



IIST (総合理工学インスティテュート)

Institute of Integrated Science and Technology

大学院理工学研究科と情報科学研究科の連携により、サステナブルなグローバル社会を支える総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラムを設置しています。



Global MBA (経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)

Global MBA Program

実務経験3年以上の方を対象に、英語で日本のビジネス慣習、日本企業、日本の経営スタイルを学び、平日夜間と土曜の通学1.5年で修了できるMBAプログラムを提供しています。

グローバル化に対応した入試制度

語学力や留学経験等が活かせる入試の実施

- **英語外部試験利用入試（一般入試）**
TOEFL®などの英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした入試制度。15学部中7学部で実施。
- **英語外部試験利用自己推薦特別入試**
経済学部で実施している、英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした自己推薦特別入試。

● 外国人留学生のための入試

外国人留学生を対象に、書類選考と面接試験を実施する入試、渡日前でも受験できる書類選考のみによる入試の2種類を実施。

● グローバル体験公募推薦入試

海外高校への留学経験者を対象にした学校長推薦による入試制度。

● 国際バカロレア利用自己推薦入試

国際バカロレア資格取得者を対象とした入試制度。

グローバル・ポイント制度

プログラム参加経験の数値化

留学や語学研修など大学が指定するプログラムへの参加についてポイントを付与します。一定のポイントを獲得した学生には、本学スーパーグローバル大学創成支援事業のロールモデルとして表彰します。

2018年度からの新しい授業時間割と学年暦

多彩な授業・留学等を可能にする教学改革

教学改革の一環として、単位制度に沿った授業時間数の確保とグローバル化に対応した柔軟な授業設計ができるように、2018年度に1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

教員の国際通用性の向上

英語で授業をする教員向けの授業運用力サポート体制
従来日本語で行っていた授業を英語で行う授業担当教員向けに、ネイティブスピーカーのアドバイザーがサポートしています。より分かりやすい授業デザインや、教育力の向上を目指し、英語による教授法のアドバイスをしています。

LinkedInによる情報発信と卒業生との連携

SNSによるグローバルなネットワーク展開

LinkedInは、世界最大級のビジネス特化型SNSです。法政大学では、カレッジページを開設して、大学の情報発信をしているとともに、国内外の卒業生および在学生とのネットワークを展開しています。

授業科目のナンバリング

授業レベル表示の国際通用性の向上

授業科目に適切な番号を付し分類することで、配当年次や学習段階などを考慮して履修科目を選択できるよう、体系的な教育プログラムの明示をしています。また、ナンバリングには、海外大学との授業レベルが比較可能となるメリットがあります。

職員の国際通用性の向上

語学力強化の職員研修の充実化

国際的な業務に対応できるよう、職員の資質向上のために、TOEIC®受験料補助、オンライン英会話、英語講座、海外研修などを実施しています。

グローバル化の歩み

History of Globalizing Hosei

法政大学は、これまで130年を超える歴史において、自由の尊重、進取の気象という伝統を育み、「自由と進歩」という校風を形成してきました。その精神を受け継ぎながら、学生交流や学術交流に積極的に取り組み、グローバル化を推進してきました。法政大学は、これからも新たな改革に挑み、地球社会のさまざまな課題解決に寄与する大学を実現していきます。

1880年代
ボアソナード博士の法学学校
政府の法律顧問としてフランスより来日したボアソナード博士は1883年、のちの法政大学となる東京法学校の教頭に就任。以後10年間、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに重要な役割を果たしました。

1931年
「青年日本号」の訪欧飛行
1931年5月29日、東京飛行場（現・羽田空港）からイタリア・ローマを目指して飛び立った複葉プロペラ機「青年日本号」。

1975年
法政大学ロンドン分室を設置
イギリスにおける本学の教育研究拠点を整備。2007年9月には法政大学ヨーロッパ研究センターとして改組。

1979年
奨学金留学制度の開始
法政大学創立100周年を記念して、財界、学生保護者、校友、教職員などによる寄付金の一部から「法政大学国際交流基金」を創設。本学の学生を海外へ送り出す奨学金留学制度（現・派遣留学制度）が発足しました。これは当時、他大学に類を見ない本学独自の制度で、海外の大学・研究機関との協定締結、本学学生の海外派遣、海外大学からの交換留学生受け入れなどに早くから取り組んでいました。

1999年
国際文化学部設置とスタディ・アブロード・プログラムの開始
市ヶ谷キャンパスに国際文化学部を開設。国際社会人の育成を目指し、学部生全員が2年次に世界の7言語圏に広がる協定大学のいずれかに留学する必修留学制度スタディ・アブロード（SA）・プログラムを導入。

2007年
法政大学ヨーロッパ研究センター（チューリッヒ）の開所
チューリッヒにヨーロッパにおける海外研究拠点を拡充。

2000～

2012年
グローバル人材開発センターの設置
グローバル人材育成推進事業を推進するための組織として、グローバル人材開発センターを設置。

2014年
グローバル戦略本部とグローバル教育センターの設置
総長を本部長とするグローバル戦略本部を設置し、それまでの国際交流センターとグローバル人材開発センターを改組したグローバル教育センターを開設。日本社会のグローバル化を牽引し、サステナブル社会の実現を目指すため、全学で取り組める運営体制を組織しました。

2018年
グローバル化に対応した新しい授業時間割と学年暦の導入
1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

2015年
法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所
英語学位プログラム Global MBAの設置

2017年
日本語教育プログラムの開始
主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

2019年
法政大学ダイバーシティ宣言の制定
大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

1880～ 1900～

1903年
梅謙次郎博士の初代総理就任
専門学校令により学校名が法政大学となり、梅謙次郎博士が初代総理（現在の総長）に就任。博士は、中国人留学生を対象とした「法政速成科」や英・独・仏の語学教育のための「語学科」を開設するなど、世界的視野で多角的な教育改革を推進しました。この「開かれた教育」の精神は、今日の本学に受け継がれています。

1904年
清国留学生法政速成科
清国留学生法政速成科を開設。法政大学および法政速成科には、辛亥革命の指導者や中華民国の中心的存在となった人々が、留学生として多く在学していました。

1977年
国際交流センターの新設
国際交流に関する調査や資料の収集、交換、受け入れ外国人研究者への協力、外国人留学生に対する学習上・生活上の援助などの業務を全面的に担当する専門部局として、国際交流センターを設置しました。

1997年
交換留学生受入れプログラムの開設
これまで交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるため、英語を教育言語としたESOP（交換留学生受入れプログラム）を開設。ここでは日本語習得以外の全ての授業が英語で行われ、日本文学、社会、政治、経済などのテーマを中心に、米国や英国のようにゼミ形式中心の授業を行っています。英語による授業は、交換留学生だけではなく本学学生も受講でき、日本人学生が海外に留学する準備の役割も果たしています。

2008年
グローバル教養学部の設置と全科目英語化の実施
市ヶ谷キャンパスにGIS（グローバル教養学部）を開設。学問領域の枠組みにとらわれず、高い英語運用能力を身に付けた人材の育成を目指し、原則として全ての授業を英語で行うカリキュラムを実施。

2020年
法政大学アメリカ研究所の開所
カリフォルニア州にアメリカにおける海外研究拠点を整備。

2013年
法政大学台湾事務所の開所
本学との協定校である淡江大学（台湾）の台北キャンパスに海外窓口を拡充。

2015年
法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所
英語学位プログラム Global MBAの設置

2017年
日本語教育プログラムの開始
主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

2019年
法政大学ダイバーシティ宣言の制定
大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

2020年
法政大学アメリカ研究所の開所
カリフォルニア州にアメリカにおける海外研究拠点を整備。

2021年
法政大学ヨーロッパ研究センターの開所
チューリッヒにヨーロッパにおける海外研究拠点を拡充。

2022年
法政大学アジア研究センターの開所
シンガポールにアジアにおける海外研究拠点を整備。



ボアソナード博士



梅謙次郎博士



ESOP（交換留学生受入れプログラム）



国際文化学部 スタディ・アブロード（SA）・プログラム



GIS（グローバル教養学部）



ERP（英語強化プログラム）